



イメージキャラクター  
ふくにゃん

ふれあいネットワーク

# 曾於市社会福祉協議会情報紙

第98号

令和8年1月15日



## 手と手

やさしさ  
100パーセント



### 今号の表紙作品「たすけ愛」

第21回 曾於市社会福祉大会 福祉ポスター

「小学生高学年の部」最優秀賞作品

曾於市立深川小学校

6年

大迫 おおさこ

維千花 いちか  
さんの作品



世界中の人々がみんな助け合って、明るく幸せな世の中  
になって欲しいという気持ちをこめました。

理念 人と人とのつながりを大切に地域と共に歩む

発行／社会福祉法人 曾於市社会福祉協議会 曾於市財部町南俣 504 番地 1 (財部保健福祉センター内)

TEL : 0986-72-0460 ・ 0480 FAX : 0986-72-0425

## 新年の挨拶

社会福祉法人曾於市社会福祉協議会 会長

山本 ひとみ



明けましておめでとうございます。

皆様にはすこやかに令和八年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日ごろから地域福祉向上のため、見守り活動や支え合い活動など地域福祉を推進しておられる皆様方のご尽力に心から感謝申し上げます。新しい年がより良き一年となるようお祈りいたします。

物価高や急速に進む少子高齢化、人口減少、生産年齢人口の減少等により日本社会をとりまく環境は大きく変化し、地域社会においても影響を受けて、経済的困窮や生きづらさなど心理的問題を抱える方々への対応、孤独や孤立の問題など福祉課題は複雑、複合化しています。また、大規模地震や気候変動による豪雨など自然災害も全国各地で頻発し、自立した生活が困難となった方への支援活動も増加しています。

このような状況の中、担い手不足による福祉・介護人材の確保・育成が喫緊の課題となっています。制度の見直しや新たな取り組み等、変化や動きを見極め地域の実情に適確に対応していくことが必要です。

本会は未来を見据えて自分の住む地域をどうしていくのか、日々の暮らしについて暮らしの当事者となる地域の皆様と共に考え、話し合って動くという住民主体の地域づくりの「連携・協働の場」としての役割を果たしていきたいと考えております。

困った時に「助けて」とお願いできる人がいる、話を聴いてくれる人がいるなど身近に頼れる人がいることで心強く安心して暮らすことができます。身近な地域での支え合い、助けたり助けられたりの関係が広がることが「地域共生社会」の実現のスタートとなると思います。地域福祉の中核的推進団体として、あらゆる関係機関・団体の皆様とのネットワークを活かしながら、曾於市社会福祉協議会は、地域共生社会の実現に向けて様々な地域福祉事業を積極的に進めてまいります。

本年もどうぞ皆様方の変わらぬご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

## Action Report

### 鹿児島県地域福祉推進大会で財部校区北俣社協がパネリストとして登壇

令和7年10月31日、鹿児島市で「令和7年度鹿児島県地域福祉推進大会」が開催され、表彰式に続き、「地域共生社会の実現をめざして～ともに生きる豊かな地域社会づくり～」をテーマに、同志社大学社会学部社会福祉学科・永田祐教授による記念講演が行われました。続くパネルディスカッションでは、錦江町の認知症への取り組みやNPO法人やどかりプラスの活動発表、そして、曾於市からは財部校区北俣社会福祉協議会 徳丸 宏幸 会長と本会 地域福祉課 若松 旭 課長が、福祉の拠点として取り組んでいる「ひまわり館」の活動を中心に、地域住民主体の実践事例や社会福祉協議会の関わり方を報告しました。

「地域づくりの主役は住民。ともに地域に目を向け、地域の声を聞き、共に考える」という視点のもと、地域の方々と語り合い、市社会福祉協議会と地域住民が想いを共有することの大切さや、課題を“自分事”として捉えてもらい、主体性を引き出ししていくための働きかけについてお話ししました。

支え合いの地域づくりの基盤は、日頃からのつながりづくりです。徳丸会長から「まずはやってみましょう!」「うまくいかないこともあると思いますが、私たちは、その時にみんなで考えるようにしています。」と地域福祉活動への思いをこめたメッセージが送られました。





# ふくしワークショップ

支え合いと日頃の「備え」の大切さを学ぶ

令和7年12月14日

そお生きいき

健康センター

市内の小学生を対象に「ふくしと災害」をテーマとしたふくしワークショップを開催しました。

当日は、市総務課危機管理室の職員や高校生ボランティア、日赤奉仕団の皆さまのご協力のもと、「福祉・災害のお話」「炊き出し体験」「防災講話」「防災すごろく」を通して、思いやりの心やボランティア、防災について学びました。子どもたちは、個人での備えに加え、日頃から助け合える地域のつながりが大切であることを体験的に学ぶ機会となりました。

災害時には、地域のつながりが大きな力を発揮します。本会では、今後も災害時を見据えた地域づくりの啓発に取り組んでまいります。

## ■「福祉・災害のお話」

「福祉とは“ふだんのくらしのしあわせ”」をキーワードに、私たち一人ひとりが安心して暮らせる地域についてお話ししました。また、災害が起きると、これまで当たり前だった生活が送れなくなることがあることを含め、日頃から地域の方々と顔の見える関係が築かれ、助け合える地域であることの大切さについて学びました。



## ■「防災講話」

曾於市役所総務課危機管理室吉松氏より、防災ガイドブックをもとに、日頃の備えや非常時の持ち出し品についてご講話いただきました。あわせて、避難所で活用できる段ボールベッドや仕切り用テントの体験も行いました。

## ■「炊き出し体験」

ハイゼックス袋にお米と水を入れ、大きな釜でご飯を炊く炊き出し体験を行いました。初めて体験する子どもたちばかりでしたが、協力しながら上手に取り組むことができました。昼食には、体験した炊き出しご飯で日赤奉仕団の皆さんに作っていただいたカレーライスをおいしくいただきました。



## ■「防災すごろく」

高校生ボランティアが防災クイズを出題しながら、すごろく形式で防災について学びました。子どもたちと高校生が交流しながら、楽しく防災の知識を深める時間となりました。

## ■参加者の声

「これから福祉のことをもっと知りたいと思った」  
「炊き出し体験を初めてした。みんなで食べたカレーライスが美味しかった」  
「防災すごろくのクイズが楽しかった」  
「自分の命を守る行動がとれるように練習したい」



## 地域の「居場所」を大切に

令和7年度 ふれあい・いきいきサロン・ミニデイ連絡会 令和7年11月10日 末吉中央公民館

本会では、地域住民の居場所や生きがい、つながりづくり、介護予防などを目的とした、ふれあい・いきいきサロンやミニデイ活動等の促進に取り組んでおり、活動者への支援や、活動者同士の情報共有・意見交換の場として連絡会も開催しています。

今回は「私たちのサロン・ミニデイ活動」をテーマに、東崎ジュン子氏、松下淳子氏、大村幸子氏の3名に日頃の取組みを発表していただきました。自治会全世帯がサロンのメンバーとなっている事例や、参加者全員が何らかの役割を持ちながら活動している運営方法、顔を合わせることが自然な安否確認につながっていること、季節ごとに年間計画を立てて制作や行事を行っている事例など、多様な工夫が紹介されました。

意見交換では、メンバーを代えながら自分たちのサロン活動の現状や、活動を続ける上で良かった点・困りごとについて活発な話し合いが行われました。「みんなに会えるのが嬉しい」「ニュースポーツやレクリエーションの紹介が欲しい」「継続のために後継者が必要」などの声がありました。

今後、地域の“居場所”づくりをすすめ、安心して暮らし続けることができる地域づくりを推進してまいります。



## ち い き の う ご き



### 活動への思いを出し合い 共感し合いながら交流

#### ほっとサービス協力会員交流会

令和7年9月29日 そお生きいき健康センター

「ほっとサービス」に登録している協力会員の皆さんが集まり、今年度初めての交流会を行いました。「ほっとサービス」は、日常生活の困りごとを住民同士の助け合いで支援する、有償の生活支援サービスです。当日は、職員から、サービスの実施状況の報告や実際の事例紹介（買物支援、ゴミ出し支援、病院の付き添い支援など）を行い、その後のグループワークで、活動の中で感じたことや困ったことを話し合いながら交流をしました。「相手に喜んでもらえてうれしかった」「なかなか会話が続きず気をつかうこともある」など、同じ活動を行う者同士だからこそお互いに共感し合いながらさまざまな意見や感想が出されました。

また、「もっと多くの住民に『ほっとサービス』を知ってほしい」「助け合いの輪を広げたい」といった声もありました。

皆さんの声を大切にし、サービスの充実を図りながら、地域の助け合いがさらに広がるよう取り組んでいきます。





## 自分たちにできることに思いをふくらませて

福祉教育出前講座 令和7年10月10日,23日 曾於市立財部中学校

財部中学校からお声かけをいただき、福祉教育出前講座を行いました。

最初に、「ふくしとボランティア」について学び、支え合うことの重要性や思いやりの心を持って、それを言葉や行動で表現することの大切さについて理解を深めました。そして、自分たちの周りにいる人や地域にはどんな困りごとがあって、そのために自分たちにどんなボランティア活動ができるかを考えるグループワークを行いました。

生徒からは「福祉は自分たちを含めみんなのことだということがわかった。」「みんなが安心して暮らせるために自分たちにできることを考えていきたい。」という言葉がありました。

23日には、「体験を通した気づきから考える」ことを目的に、車いすを使って生活をする人に目を向けました。体験を通して、自分たちが普段生活している環境にどんな生活のしづらさがあるのか、どのような声かけや支援があれば安心できるのかに気づき、これから自分たちにどんなことができるのかを考える機会となりました。



## ち い き の う ご き



### 地域で支え合う “もしもの備え”

月野校区社会福祉協議会の取り組みを紹介 令和7年9月28日

大久保公民館で月野校区社会福祉協議会による避難行動訓練が行われました。

大型台風接近による「警戒レベル3」を想定し、避難経路の確認や安否確認、要配慮者への声かけなどを実施。参加者は非常持ち出し品を持参し、自治会、公民館、学校、民生委員など地域の多様な立場の人々が協力しました。

訓練後は日本赤十字社鹿児島県支部による講話があり、「自助（命を守る行動）」「共助（地域や人を知る）」の重要性を学びました。特に“隣近所との日頃のつながり”が災害時の命を守る基盤になることを確認。

参加者が持参した非常持ち出し品についてもアドバイスがあり、それぞれが「自分に必要な備え」を考えるきっかけとなりました。

さらに、災害時や救急搬送時に役立つ“緊急シート”を更新し、持ち出し袋への活用を周知。参加者からは「実際に動いてみて避難時の課題が見えた」「近所と顔を合わせる良い機会」といった声が寄せられ、防災意識が一層高まる機会となりました。





# ふれあいフェスタ 秋まつり

2025.10.18

そお生きいき健康センター

ふれあいフェスタ秋まつりは、市内で障がい者支援に携わる事業所や関係機関の皆さんと本会が協同して“みんなが主役”をテーマに企画・運営したものです。

当日は、各事業所によるマルシェ会場（総菜や工芸品、手芸品、農作物などの販売をはじめ、フードドライブや手づくり屋台）や体験コーナー（ポッチャ・輪投げ、ふくにゃん塗り絵など）も設けられました。

ステージでは、各事業所の方々によるダンスやカラオケ、エイサー太鼓、マジックショー、子ども向けステージなどが披露され、120人を超える来場者で賑わいました。



また、新たな試みとして、障がい福祉に関する悩みや相談を専門職に気軽に話せる「カフェコーナー」を開設したところ、多くの方にご利用いただきました。

今後も誰もが安心して生活できる地域を目指して、当事者や、関係団体等と手を取り合い取り組んでまいります。







# 一人ひとりが輝く地域づくり 体操教室フェスタ

■開催日 令和7年10月25日(土)  
9:30～12:30

■場 所 末吉総合体育館



からだの体操



みんなで体操



口腔体操



音楽体操



ニュースポーツ体験



ブースコーナー



今回で3回目をむかえる「一人ひとりが輝く地域づくり 体操教室フェスタ」を開催しました。市内75カ所で活動している体操教室のメンバーと指導者等約200名が集まり、専門職によるストレッチ体操、セラバンド体操、口腔体操等のポイントの確認をしながら、いつも頑張っている体操をいっしょに行うことで、共にながらっている体操教室同士の交流を深めることができました。その他にも、内村氏による音楽体操「となり組」と曾於市食生活改善推進員による音楽体操「北酒場」、ニュースポーツの体験、ブースコーナーでは、大隅シオン舎・のどか園・笑流の販売、曾於郡歯科医師会による無料口腔がん検診や曾於市保健課によるそお暮らしの保健室、末吉デイサービスセンターによる展示が行われ、多くの参加者が各コーナーを楽しめました。参加者からは「体操ひとつひとつの動きの確認ができて良かった。」「3町が集まり体操ができたことに感謝です。自分達も頑張ろうとはげみになりました。」との声が聞かれました。

本会では、「介護予防」と「通いの場づくり」を推進することを目的に地域における体操教室の開設に取り組んでいます。体操教室の立ち上げなどご相談がありましたら曾於市社会福祉協議会へご連絡ください。

# 曾於市生活相談支援センターより

このセンターは「生活困窮者自立支援法」に基づく相談窓口です

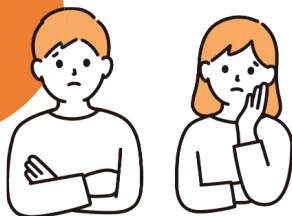
曾於市生活相談支援センターは、生活の不安や悩みを抱えている方からの相談を受け、一緒に考え、解決に向けて支援を行う場所です。

例えば『働きたいけど自信がない、自分に合う仕事が見つからない』といった仕事の相談や『家賃や公共料金が払えない』など生活の中で出てくる様々な悩みについて一緒に考え、解決に向けてお手伝いさせていただきます。

生活費が  
足りない…  
どうしよう

食べるものが  
ない…  
どうしよう

働きたいけど  
自信がない



## 曾於市生活相談支援センター

☎0986-57-1750

相談窓口 そお生きいき健康センター内  
曾於市末吉町二之方 2342 番地 2

相談時間 月曜日～金曜日  
8時30分から17時15分まで  
※土日、祝日、年末年始を除く

◀寄り添い、支援を進めていきます。お悩みの方はまずはご相談ください。

## 相談支援の流れ

問題やお悩みを  
確認・整理

解決のための  
プランを  
一緒に作成

プランに沿って  
継続的に支援

自立した生活を  
サポート！  
問題やお悩みの  
解決を目指します

## 「フードバンクそお」との連携についてご紹介します。

「フードバンクそお」と本会は、生活困窮者を対象に食糧を提供するため、フードバンク活用支援事業の実施に関する協定を締結しており必要とする方に食糧支援を行っています。

食糧支援を通して健康状態や生活状況を把握し、必要に応じた支援を行います。

### フードドライブ啓発活動への参加

11月8日・9日に開催された、第18回思いやりそお市民祭でフードドライブの啓発活動に参加しました。食品寄付の受付、フードロス削減の広報と啓発活動を行いました。寄付で頂いた食品等は、今後必要な方への支援で活用させていただきます。





# 生活福祉資金貸付制度のご案内

生活が困窮  
している方へ

## 生活福祉資金って？

生活福祉資金貸付制度は、低所得者世帯や障害者世帯、高齢者世帯に対し必要な資金の貸付と併せて相談支援を行うことで、経済的な自立を促進し、安定した生活を送れるようにすることを目的とした制度です。

## 貸付の対象となる世帯は？

### 低所得者世帯

市町村民税が非課税・均等割課税世帯であり、世帯の平均的な月収が生活福祉資金貸付収入基準額を下回っている世帯。



### 障害者世帯

身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方の属する世帯、その他、障害者総合支援法によるサービスを利用している等、これと同程度と認められる者の属する世帯。

### 高齢者世帯

日常生活上介護を要する 65 歳以上の高齢者の属する世帯であり、市町村民税が非課税・均等割課税で生活福祉資金貸付収入基準額よりも収入が下回っている世帯。

※上記の世帯に該当しても、他法優先などにより貸付の対象とならない場合があります

## 貸付の種類は？

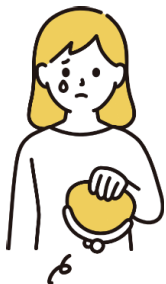
### 総合支援資金

生活支援費

住宅入居費

一時生活再建費

失業等により生活困窮となった世帯の再就職までの生活費や就職活動費、生活再建、住宅の賃貸契約に必要な費用など



### 福祉資金

福祉費

日常生活を送る上で一時的に必要な費用（技能習得経費、住宅増改築経費、福祉用具購入経費など）

緊急小口資金

日常生活を送る上で一時的に必要な費用や緊急かつ一時的に生計の維持に必要な費用

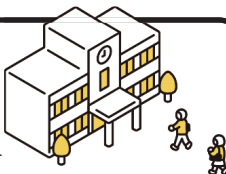
### 教育支援資金

教育支援費

高校、専修学校、大学等に就学するために必要な費用  
(授業料、寮費・家賃、通学費用など)

就学支度費

高校、専修学校、大学等の入学に際して必要な費用  
(入学金、制服代、教科書代など)



### 不動産担保型生活資金

低所得世帯向け・要保護世帯向け

高齢者世帯の生活費（現在居住しており、一定額以上の資産評価のある不動産を担保に貸付契約を締結）

※要保護世帯向けは、保護の実施機関が資産の保有要件を除き保護が必要と認める世帯が対象

ご相談や申込み、資金の詳細については曾於市社会福祉協議会へお問い合わせください。

本所（財部） ☎ 0986-72-0460 | 末吉支所 ☎ 0986-76-2224 | 大隅支所 ☎ 099-482-3013

## ほっとサービス協力会員募集

ほっとサービスは、「自分たちの住むまちを、自分たちの手で住み続けられるようにしたい」という思いが形となった「会員登録制の有償サービス」です。

自分や家族、公的なサービスでは対応が難しい日常生活上の困りごとを住民同士の助け合いで支援します。そして、サービスを通じて、人と人のつながりを生み、地域の支え合いを広げていきます。

ほっとサービスは協力会員の思いに支えられています。「地域のために自分にできることをしたい」と考えられている方、その思いを協力会員として発揮してみませんか？

ほっとサービス活動に興味・関心のある方、会員登録をしたいという方は、ぜひ、ご連絡ください。

お問合せ 本所（財部） ☎ 0986-72-0460 | 末吉支所 ☎ 0986-76-2224 | 大隅支所 ☎ 099-482-3013

### ほっとサービスでの支援内容

☆買い物代行 ☆ゴミ出し、分別 ☆通院付添 ☆家事援助 ☆話し相手 など



## 『後見人のつどい』に参加してみませんか？

「後見人になったけど・・・どうしたらいいのかわからない」「後見活動の不安や悩みを解消したい」「後見人になることを検討している」「専門家の助言がほしい・・・」など、後見活動における疑問や悩みについて、後見人同士で気軽にお話しできる「つどい」を開催します。

日時 令和8年3月17日（火）14時から16時

場所 財部保健福祉センター

対象となる方

- ・成年後見人等として活動中または、活動を検討されている方
- ・成年後見制度の申し立てを考えている方

内容

- ・講座「成年後見制度について」・意見交換、交流会

申込・お問い合わせ

曾於市社会福祉協議会 権利擁護センター TEL:0986-72-0460





## 正規職員の募集について

社会福祉法人曾於市社会福祉協議会では、下記の業務に従事する職員を公募します。

募集職種 ( 資格要件 )	業務内容	募集 人数	年齢	その他
栄養士	栄養管理業務及び調理業務全般を行っていただきます。	1 名	不問	普通自動車 一種免許 (AT限定可)
看護師又は 准看護師	在宅介護サービス事業の看護業務全般を行っていただきます。	1 名		
介護福祉士	在宅介護サービス事業の介護業務全般を行っていただきます。	1 名		
主任介護支 援専門員	曾於市内の高齢者の生活全般に関する総合相談支援業務、介 護予防プラン作成業務、地域の介護支援専門員への支援業務 を行っていただきます。	1 名		
介護支援専 門員	曾於市内の高齢者の介護予防や健康増進、自立支援を促す相 談支援業務、介護予防プラン作成業務を行っていただきます。	1 名		

**受付期限は、令和 8 年 1 月 26 日 ( 月 ) までとなります。**

その他、詳細については、曾於市社協ホームページ又は右の QR コードからご確認ください。  
ご不明な点がございましたら、曾於市社協 総務課 担当 藤田 (0986-72-0460) まで。



## やさしいスマホ講座 参加者募集

スマートフォンの使い方を勉強してみませんか？ スマホの操作に不安のある人でも安心して使えるように、本会の職員と学生ボランティアがサポートします。皆様のご参加をお待ちしています。

**日 時** 令和 8 年 2 月 15 日 ( 日 ) 10 : 00 ~ 12 : 00 **受講料** 無料  
**会 場** そお生いき健康センター 集団検診室②, ③ **持ち物** 筆記用具、スマートフォン ( またはタブレット )  
**講 師** 曾於市社会福祉協議会職員、学生ボランティア **申 込** 2 月 2 日 ( 月 ) までに曾於市社会福祉協議  
**対 象** スマートフォンをお持ちの曾於市在住・在勤の方 **会** にご連絡ください。  
**申し込み先** TEL : 0986-72-0460

## 無料法律相談開設について

### ひまわりの会による無料法律相談

○相談料：**無料** ( 相談者からはいただいておりません )  
 ※ 1 回につき相談時間は 30 分以内  
 ○申込・受付方法：**事前に予約が必要です。**  
 ○お問合せ先：  
 ひまわりの会 事務局 代表弁護士 山口 政幸  
 鹿児島市山下町 12 番 17 号 2 階  
 TEL : 099-227-0041 ( 受付 : 平日 9 時 ~ 17 時 )

### ○相談日時及び会場

会場	相談日時
財部保健福祉 センター	4 月 16 日 (13 時から 16 時まで)
そお生いき 健康センター	2 月 19 日 (13 時から 16 時まで)
大隅弥五郎 伝説の里	3 月 19 日 (13 時から 16 時まで)

### 藤尾法律事務所による無料法律相談

○相談料：**無料** ( 相談者からはいただいておりません )  
 ※ 1 回につき相談時間は 30 分以内  
 ○申込・受付方法：**事前に予約が必要です。**  
 ○お問合せ先：  
 弁護士法人 大隅広域ディフェンダー  
 藤尾法律事務所 末吉支所  
 曾於市末吉町本町 1-4-5 TEL : 0986-51-9830

### ○相談日時及び会場

会場	相談日時
財部保健福祉 センター	2 月 10 日、3 月 10 日、 (13 時から 15 時まで)
大隅弥五郎 伝説の里	1 月 20 日、2 月 17 日、 3 月 17 日 (18 時から 20 時まで)

# たくさんの善意に感謝いたします

曾於市社会福祉協議会では、ご寄付を曾於市民の皆様への地域福祉向上のために大切にに使わせていただきます。掲載につきましては、ご本人の承諾を得てご希望どおりに掲載しております。(R7.10.1～R7.12.31 受付分)

## 香典返し寄付金

### 財部地区

久保 良一様／七村  
小園 セツ子様／大石  
角田 加代子様／飯野  
松下 良明様／元阿邪里  
大石 宏様／町  
田中 ヒナ子様／高山  
蜂須賀 勝様／切通  
松山 博子様／南

### 末吉地区

竹下 優子様／祝井谷  
濱田 耕作様／上町  
丸鶴 エミ子様／丸山下  
池之上 義弘様／大沢津  
稻森 トモ子様／国原西  
鳩宿 数智様／上町  
瀬戸山 勝士様／東法楽寺  
匿名

### 大隅地区

上野 ツギ子様／上町  
有島 聖子様／大川原  
吉國 健二様／二重堀  
牧之瀬 学様／東鍋(大阪府)  
小川原 俊昭様／大川原

園田 長一様／市柴  
河野 正子様／亡 重信正春／  
名古屋市  
竹下 弘子様／馬渡  
小濱 甚平様  
野田 トミ子様／河原



◀鹿児島相互信用金庫 三紘会及び鹿児島相互信用金庫より鹿児島県社会福祉協議会を通じて、車椅子2台を寄贈していただきました。ありがとうございました。

## 一般寄付金品

### 財部地区

匿名／西村  
鹿児島相互信用金庫 三紘会・鹿児島相互信用金庫／車椅子2台

### 末吉地区

大園 征郎様／中高松／3,000円

### 大隅地区

松尾 照美様／桑野迫／50,000円

曾於市社会福祉協議会は税額控除対象法人の証明を受けています。

本会への寄付(一般寄付、香典返し等)は、現行の所得控除制度に加え、**税額控除制度**との選択が可能です。**税額控除**では、税率に関係なく税額から税額控除額を直接差し引きます。

小口の寄付にも**減税効果**が大きく、所得控除と比較してほとんどの場合、**税額控除**の方が減税効果が大きくなります。

## 令和8年度情報紙モニター募集

令和8年度情報紙モニターとして、情報紙にご意見をいただける方を募集します。詳しくはお問い合わせください。

曾於市社会福祉協議会 総務課 TEL: 0986-72-0460

## 社協公式 SNS・ホームページはこちら

＼地域福祉の様々な情報をお届けしています／



ホームページ



Instagram



公式 LINE



ボランティア募集 LINE

NEW  
ボランティア募集のお知らせなどを発信!

## 曾於市社協情報紙へのご意見はこちらから



## 編集後記

新年あけましておめでとうございます。本年も社会福祉協議会をどうぞ宜しくお願いいたします。私の仕事柄、毎月ご利用者様宅を訪問するのですが、昨年の夏はいつまでこの暑さが続くのかと疲労困憊でした。しかし、気がつくと真冬の寒さとなり体温調整が難しいと感じている所です。近年の気候変動で春と秋が極端に短くなり、夏と冬が長く続く「二季化」に近づいていると言われています。皆様も暑さ、寒さに負けないよう日頃の体調管理に気をつけてお過ごしください。

K・T



この情報紙は、地域住民の皆様からの赤い羽根共同募金を財源に発行しています。